

宮古語大神方言の局面表現にかかわる諸形式

2021. 12. 12. (国立国語研究所)

金田章宏 (千葉大学)

本発表の1では文法形式ごとの意味を記述し、2では意味ごとに形式を整理する。この記述は大神方言文法書の一部になるものだが、そのための整理の仕方が妥当かどうか問題になる。

以下でとりあげる諸形式はすべて非過去形が現在テンスの表現にかかわる形式である。

1. 局面の表現にかかわる諸形式

1. 1 完成相 (総合形・分析形)

1. 1. 1 終止形 (非過去形)

1. 1. 2 中止形 (第?終止形)

1. 2 動詞の組み合わせ形式

1. 2. 1 動詞中止形との組み合わせ

1. 2. 1. 1 動詞中止形と補助動詞 u_1 (シテイル)

1. 2. 1. 2 動詞中止形と補助動詞 ukS (シテオク)

1. 2. 1. 3 動詞中止形と補助動詞 a_1 (シテアル)

1. 2. 1. 4 動詞中止形と補助動詞 kSs (シテクル)

1. 2. 1. 5 動詞中止形と補助動詞 pe_1 (シテイク)

1. 2. 1. 6 動詞中止形と補助動詞 $ne:N$ (シテシマウ)

1. 2. 1. 7 動詞中止形と動詞連体形? × 2

1. 2. 2 動詞連体形との組み合わせ

1. 2. 2. 1 動詞連体形と $m:ti: u_1$

1. 2. 2. 2 動詞連体形と補助形容詞 $ku:kam$

1. 2. 2. 3 動詞連体形と形式名詞の組み合わせ

1) 動詞連体形と $kata$

2) 動詞連体形と $kumata$

3) 動詞連体形と $paNk_1$

1. 2. 3 動詞意志形と補助動詞 u_1

2. 局面別の諸形式

2. 1 兆候・きざし (開始直前に連続?)

2. 2 開始直前 (開始過程に連続?)

2. 3 開始過程

2. 4 開始後

2. 5 動作や変化の継続

2. 6 反復・習慣

2. 7 終了過程

2. 8 完了的

2. 9 終了後の局面

2. 10 痕跡

はじめに 局面とは

日本語文法で〈局面〉は、たとえば高橋ほか 2005『日本語の文法』では局面動詞として「しはじめる」「しつづける」「しおわる」に使用されている。これらの動詞はそれぞれ運動の始発、持続、終了の局面をあらわすとするが、テンス的にはどれも、非過去形で基本的に未来をあらわす。これらが現在テンスをあらわすためには継続相シテイルの形にする必要がある。

本発表では宮古語大神方言をとおして、局面の意味をもう少し広くとらえ、高橋ほか 2005 のいう狭義の局面のほかに、動作や変化の兆候から、それらの終了後の痕跡までを、一つ一つの局面とみようと思う。さらに、一回的な動作や変化だけでなく、それらの反復・習慣的な用法も一つの局面的なものとする（広すぎるか？★）。そして、それらの局面の表現に使用される諸形式を整理する。それらの形式は、それぞれ話の現在に動作や変化がどの局面にあるかをあらわす形式、つまり、非過去形で現在テンスをあらわす形式である。

★反復・習慣的な用法も〈局面的なもの〉をとらえようとした理由は、動作の継続をあらわす形式が、アクチュアルな反復的な意味を含みこんだ意味でも使用され、それが反復・習慣（広げられた現在）へと連続する、動作の継続と反復・習慣との橋渡しのところに位置付けられる、と考えたからである。（それにしても広い？）

狭義の局面：

動作動詞＝動作の開始＞動作の継続＞動作の終了

変化動詞＝変化＞変化の結果の継続

個別の〈拝み〉のプロセス全体の開始

○いまから拝む、という動作主体の意志★拝むつもり・予定だ。

＞具体動作はなく、目に見えない＞動作主体の意識のみ

予定性があれば、日時などから第三者も判断可能

○開始のきざし＝〈拝み〉のための事前動作★拝もうとしている。

＜拝み＞を開始する準備をしている。狭義の〈拝み〉とは別の動作

家で道具などを準備する：具体物に対する具体的な動作

拝む場所へ移動する：玄関に移動して履物をはいて、目的地まで足を動かして歩く、など

拝む場所に道具などをそろえる：道具の出し入れなど、具体物に対する具体的な動作

拝みの衣装に着替える：具体物に対する具体的な動作

★実はその前に！〈拝み〉の反復的動作がすでに存在する。

毎回の〈拝み〉のために、事前に必要なものを作ったり、もらったり、買いそろえたりする必要があり、それらはすでに完了していて、過去に〈拝み〉が繰り返されている、という前提がある。

■狭義の〈拝み〉（手を合わせて唱え言をする、など）

○〈拝み〉の開始：開始のための特定の動作★拝もうとしている。

開始直後＞＞開始限界を超える、開始プロセスの完了：★拝み始めた。

○〈拝み〉の継続（プロセスの進行）：体を動かし言葉を発する、などの具体的な動作★拝みつつある。

○終了のきざし：★拝み終わろうとしている。〈拝み〉の一部

＜拝み〉の内容や時間の経過から推測

終了直前：終了のための特定の動作

○＜拝み＞の終了

終了直後＞＞終了限界を超える、終了プロセスの完了：★拝み終わった。

>>終了したことに付随する状況：結果の継続

○＜拝み＞の痕跡

燃え残った線香や供え物などがある。記憶に刻まれる。★拝んである。

○＜拝み＞のための事後動作：★すでに拝み終わっている。

ふだんの衣装に着替える。

道具などを片づける。

家に移動する。

次回の＜拝み＞のために、家で衣装や道具などを元の場所にしまう。

個別の＜拝み＞のプロセス全体の終了

★これら個々のプロセスのすべてに（専用の）表現形式が用意されているわけではない。

★おなじ形式が＜巨視的＞に使用されることもあれば、＜微視的＞に使用されることもある。

日本語の動作動詞のシテイル：＜微視的＞な動作の継続と＜巨視的＞な反復・習慣

○拝んだ。現在から切り離された過去★ここでは扱わない。

＜食べる＞

野菜なら、畑を耕して種をまいて・・・野菜が出来上がり

魚なら、釣竿や網を用意して海に行って・・・魚が捕れて

米なら、米農家でなければ、店で買って

あるいは、これらすべてを店で買って

家に運んで台所で具体的な動作をして・・・料理が出来上がり

食卓に必要なものを準備して・・・席について

箸で食べ物を口に入れる＝狭義の＜食べる＞ 動作の開始＞持続＞終了

食器などを流し台に運んで、洗って、ゴミを捨てるなどして

食器などを食器棚にかたづける・・・家でのプロセスは終了

そして、また、買い物に行く、など…

＜雨が降る＞

降りそうだ。兆候・きざし

予報で降ると言っている、等。

雨雲が発生する。

雨雲が接近し暗くなる。

降っている。開始・継続

ぽつぽつ降り始める。

降り続ける。

明るくなり、小雨になる。

降り終わった。終了・終了後

雨が上がる＝降り終わる。

降ってある。痕跡

地面などが濡れている。

1. 局面の表現にかかわる諸形式

1. 1 完成相

1. 1. 1 終止形（非過去形）

日本語のスルの形。詳細な分析はこれから。テンス・アスペクトに関わる用法のみをあげる。

○アクチュアルな未来

ɣa=mai] fau=tu sɣ. お父さんも食べるよ。

kare:] ata=[mai] umaN=tu uɣ. あれはあしたもここにいる。

ata=tu] tiɣ. (きょうではなく) あした、照る。陽が差す。

★アクチュアルな未来は、基本的には一人称では意志形、三人称では～kumata が使用される。

○アクチュアルな現在

移動動作をあらわす語彙

pi:] pStu=nu=tu kSs. 酔っ払いが来る。見つけて。

aka fku: k!isi:ɣ] fa:=nu=tu kSs. 赤い服を着ている子どもが来る。見つけて。

○現在の状態・存在

uma=kara=mai] mi:raim. ここからも見える。海が。総合形

aɣ]=tu sɣ. あるよ。ものを見て。分析形

○反復・習慣

・副詞（いつも・ときどき）＋完成相

ɣa:] ikS=mai uma=N=tu [pɣɣ. お父さんはいつもここに座る。

kanupStu: ikS=mai] ja:nna [mi:N. あの人はいつも家にはいない。

]aN=mai peusɣnna kaNkai=tu sɣ. 私もときどき考える。

maju=nu=tu] peusɣnna kSs. ネコがときどき来る。

・完成相＋na: (na:はさまざまな文の成分につく。)

upummata=ka=te:N=na=[tu] putuɣ. おばあたちだけが踊る。いつも。na 短い。主語=na:

unu] fa:=sui=na:=[tu] appɣtaɣ. この子どもと遊んだ。まえはよく。×na:sui 間接補語=na:

uɣ]=na:=tu sɣ. ときどきいる。ネコがそこにいたりいなかったり。述語=na:

uma=N=na:=[tu] ui=na: sɣ. ここに生える。草などがよく。間接補語=na:、述語=na:

1. 1. 2 中止形（第？終止形）

現在から切り離されたふつうの過去の用法を基本とするが、完了的な用法もみられる。中止形の終止用法とするか、第？終止形とするか。

○完了的（開始限界達成？）

a: [mi]:=tu. あ、見た。あの人。見た瞬間。

ma:Nti:=tu] numi. ほんとうに飲んだ。飲んだ瞬間。飲まないと思ったのに。

mme] umui iti=tu. あ、思い出した！思いついた！

ma:Nti:=tu] ffi. ほんとうに降った。いま降っている。（もうやんでいる。）

a: piN]ki=tu. あ、逃げた。釣りで。

a: [nnama=tu] pSkari. あ、いま光った。

この意味では、（第一）過去形の mi:taŋ、numtaŋ、fftaŋ などはあらわれにくい。

1. 2 動詞の組み合わせ形式

動詞の活用形と補助動詞などとの組み合わせ形式

1. 2. 1 動詞中止形との組み合わせ

1. 2. 1. 1 動詞中止形と補助動詞 uŋ

動詞継続相は中止形と補助動詞 uŋ であらわされる。おおよそ日本語の継続相と同じような用法とみられる。

○動作の継続

tamakSki]=na:=[tu] skama=u asi:ŋ. だまって仕事をしている。何人も。asi uŋ

vva:] uri: [kFfi:]ri. あなたはこれを作っている。kFfi uri

upummata=ka=te:N=tu putu]ri:ŋ. おばあたちだけが踊っている。puturi uŋ

ffu:=pa:] mari:ŋ. うんこをしている。mari uŋ

○変化の継続

peri]=tu uŋ. 帰りつつある。家を出て移動中。

tuki]=tu uŋ. 溶けつつある。氷が。

pStu=nu=tu] pi:ma=na: [pina]ri iki:ŋ. 人がだんだん減っていつている。変化中。iki uŋ

○結果の継続

naka pakŋ=u=tu] m[pa]si:ŋ. 長い足を伸ばしている。mpasi uŋ

uma=N=tu] ui uŋ. ここに生えている。草などがいま。

uma: mmi]=tu uŋ. ここは濡れている。

maŋ=a ni:]rai=tu uŋ. ご飯は炊けている。炊かされている。受動態

paku=nu=tu] klicigina[ri] uskai uŋ. 箱がきれいに置かれている。受動態

○反復・習慣

ja:ti=[nu] upu:sa jari:ri=[tu] fka:fka=[nu] su:nusŋnapi: [kSka]i uŋ. 家族が多いから、深い汁鍋を

使っている。

・te:N

ami=nu] ffi:ŋ pa:=n[na] taro:=[ja] ja:=N=[tu terebi:=te:N] mi: uŋ. 雨が降っているときは、太郎は家でテレビばかり見ている。

nivvi=te:N] uŋ. 寝てばかりいる。病気で。

・継続相 na:

juppaŋ=u=[tu] si:=na: uŋ. おしっこをしたりしている。ときどき。

nivvi=na:] uŋ. 寝たりしている。病気で寝たり起きたりしている。

uma=N=[tu] ui=[na:] uŋ. ここに生えたりしている。

ffi=na:] asi=tu uŋ. 降ったり（止んだり）している。交互的、反復的動作。補助動詞(的)asŋ

○関係、単なる状態をあらわす用法

taro:=ja ŋa=N=tu [ni]ti:ŋ. 太郎は父親に似ている。niti uŋ

upuisa=nu=[tu] kitati:ŋ. 大きさが違っている。kitati uŋ

tuka]ri=tu uŋ. とがっている。鉛筆の先。

ffuffu si=tu] uŋ. 黒い。黒くしている。

1. 2. 1. 2 動詞中止形と補助動詞 ukS

痕跡的な意味はつぎの動詞中止形と補助動詞 aŋ でもあらわされるが、動詞中止形と補助動詞 ukŋ のほうが大神方言的であるとされる。日本語のシテオクとおなじ意味にも使用される。

○準備的動作

kari=ka=tu] a[kŋ]kŋ:kŋ. あいつが預けておく。akŋkŋ ukŋ

kari=ka=tu] jaNki:kŋ. あいつが投げておく。jaNki ukŋ

aka] k!iciginari asi:ki. 私がきれいにしておこう。asi uki

aka] ku:vvi:]kati. 私が準備しておこう。ku:vvi ukati

○痕跡

unakai] saki:=pa: [nume:] ukaN. 久しく酒を飲んでいない。(相手の) 減っていない酒瓶を見ながら。久しく飲んでいないという痕跡。

taukara:=ka=tu ap]pi:kŋ. だれかが遊んである。appi ukŋ

Nkeki=tu] ukamaŋ. 召し上がってある。

naukara:=nu=tu] a[ri:kS. なにかがあったようだ。ari ukS

○反実仮想

uma=N] ati[ka: fai=tu u]kŋ. ここにあったら食べていた (はずである)。

u[ri:] fai u[ka:] i[kŋ=a] i[ti:kS. これを食べておけば元気が出ていた (はずである)。iti ukS

ai]=tu ukŋ. ケンカしていた (はずである)。あいつと。

ai=tu] uke:ŋ. ケンカしていた (はずである)。あいつと。uki aŋ

1. 2. 1. 3 動詞中止形と補助動詞 a₁

動詞中止形と補助動詞 a₁ はおもに痕跡をあらわすのに使用される。(が、動詞中止形と補助動詞 uk₁ のほうが大神方言的である)

○痕跡

upu₁a=ka=tu] mmei a₁. オジイがいらっしやってある。
nustu=nu=tu [pa₁]re:ŋ. 泥棒が入ってある。pa₁ri a₁
uma: mmi]ta:ŋ. ここは濡れてある。mmi=tu a₁
naukara:=nu=tu] ute:ŋ. なにかが落ちてある。uti a₁
naukara:=nu=tu] a[re:ŋ. なにかがあつたようだ。ari a₁

1. 2. 1. 4 動詞中止形と補助動詞 kSs

日本語のシテクルと同様、移動をともなう用法と動作や変化のあり方をあらわす用法がある。

○発生して進行 (ゼロから開始)

pŋ[ki=nu=tu] ui k<S₁>. ひげが生えてきた。
pSsi]=tu kŋ. 引いてきた。潮が
mme] su:=ja m[ti]=tu kSs. もう潮は満ちてきた。干潮から。
a: [ami=nu=tu ffi] kSs. あ、雨が降ってきた。降ってくる。降り始め。

○変化の継続 (途中の変化)

akari]=tu kŋ. 晴れようとしている。晴れつつある。k<S₁>無声摩擦のあとに母音の感じ。
sŋtaiN=tu] ffakari kŋ. だんだん曇ってきた。
fku]ri=tu kSs. 膨らんできた。
ftu]ti=tu kSs. 腐ってきた。枯れてきた。
puku]ri [kŋ. 冷めてくる。
akS]si]=[tu] kSs. 熱くなってくる。さわって温かくなっている。
upu:]sa=N=[tu] nari kS₁. 多くなってくる。人数が

○移動をともなう用法

uma=Nkai=tu a₁]ki kŋ:. ここへと歩いてくる。

1. 2. 1. 5 動詞中止形と補助動詞 pe₁

日本語のシテイクと同様、移動をともなう用法と動作や変化のあり方をあらわす用法がある。「行く」と訳される語彙に ikS と Nkiru があるが、どちらも後者の用法には使用されず、Nkiru には補助動詞としての用法もないようである。

○発生して進行

m[ti]=tu peɣ. 潮が満ちていく。干潮から。

pSsi]=tu peɣ. 引いていく。潮が

○変化の継続

tuki]=tu peɣ. 溶けていく。氷が

u[pu:sa=N=tu] nari peɣ. 多くなっていく。詳しい言い方。人数が

tau]ri peɣ. 倒れていく。進行

○移動をともなう用法

ffu pani] tuɣ=nu=tu [tupi] peri. 黒い羽の鳥が飛んで行った。

移動をともなう用法には、ikS も使用される。

ka[ri:=mai] sui ikati. あれをも誘って行こう。いっしょに行こう。

aɣki] ikasi. 歩いて行かせた。

saNme:si] ikata[ka: mmi] kumata. 注意して行かないと濡れるよ。

uri:] mu[ti:ki. これを持っていけ。

kama=Nkai iki] peri. むこうに行きやがれ peri があるほうがより強い感じか。

uma=kara iki] peri. ここから出て行け！

1. 2. 1. 6 動詞中止形と補助動詞 ne:N

非過去形 ne:N では変化や動作の終了後の現在の状態をあらわす。

○変化終了後の（持続の）局面（～している）（変化の結果の継続）

ti:=u=tu] jamasi ne:N. 手をけがしてしまった。

ic!ikiro=kami u[taf] nari ne:N. 1 キロも太った。

pi:maka:] numi s!iti:=[tu pi:] ne:N. 少し飲んで酔ってしまっている。現在。

nivvi] ne:N. 寝てしまった。いま寝ている。熟睡している。

uki] ne:N. 起きちゃった。寝ていたのに。

○動作終了後の（持続の）局面（～した）（完了?）

ukusi] ne:N. 起こしちゃった。寝ていたのに。

kFfi] ne:N. 作り終わった。完成した。

nivpsami] ne:N. 寝坊しちゃった。現在。

numasi] ne:N. （まちがって少しだけ）飲ませちゃった。

▼ffi] ne:N. 降り終わった。雨がやんでいる。

移動の完了

peri] ne:N. 帰ってしまった。いない。（人の「いない」なら mi:N になる。）

m:na paɾi] ne:N. みんな入っちゃった。入室完了。
m:na=tu] itasi=tu] ne:N. ぜんぶ出した。箱の中身を。(tu+tu)
m:na] ɾi ne:N. みんな入れ終わった。酒の入れ替え完了。

○動作後のものの消失：語彙的

m:na=tu] kai] ne:N. みんな買ってなくなっている。ものが売り切れている。
fi:] ne:N. あげてしまって、もうない。
fai] ne:N. 食べてなくなっている。

ne:Nは「食べてしまった」という補助動詞というよりも、「食べて、なくなっている」という本動詞的。

★過去形の例

pi:maka:] numi s!iti:=[tu pi:] ne:tataɾ. 少し飲んで酔ってしまっていた。過去の状態。
m:na=tu] kai] ne:tataɾ. みんな買ってなくなっていた。きのうは。ものが売り切れていた。
m:na] nu[mi] ne:tatam. みんな飲んでしまっていた。
fai=tu] ne:tataɾ. 食べてなくなっていた。きのうは。

○動作開始後の持続の局面

▼mme ffi] ne:N. 降り始めちゃった。降り出しちゃった。
ffi]=tu uɾ. 降っている。動作継続

1. 2. 1. 7 動詞中止形と動詞連体形？×2

動詞中止形の ja とりたて形（融合形）＋動詞連体形＋動詞連体形の組み合わせは、同じ動作を休まずに、あるいは少し間をあけて繰り返しおこなうことをあらわす。いわゆる反復・習慣の用法は、現在おこなわれている必要はないが、この用法ではつねに現在動作が進行している。このような連続的な動作は、反復・習慣の用法との中間に位置する。

○動作や変化の継続？連続？

aɾe:] aɾ aɾ. つぎつぎと歌を歌っている。目の前で。
puture:] putuɾ putuɾ. どんどん踊っているねえ。一人でいろいろつぎつぎといろんな踊りを。
fai=ja] fau fau. どんどん食べている。大食い。目の前で。
mi:=[ja:] mi: mi:. 見てばかりいる。おなじものを繰り返し見ている。
nume:] num num. 飲んだり休んだりを繰り返している。だらだら飲んでいる感じか。
ffe:] ff ff. 食ってばかりいる。釣りで魚にえさを繰り返し取られている。
ffe:] ff ff. 降り続けている。雨が。

○反復・習慣

k!ise:] kSs kSs. 来てばかりいる。反復<<変化動詞
ffe:] ff ff. 降ったりやんだりを繰り返している。

★以下、いくつかの変種

- ・中止形=ja+連体形×2+補助動詞 u₁

この組み合わせはアスペクト形式=継続相である中止形+u₁とはことなる。

fai=ja:] fau fau=tu u₁ [ju. どんどん食べているねえ。おなじものを

ɣu=nu=tu] ffe: ff ff u₁. 魚が食ってばかりいる。釣りで魚にえさを取られる。

ffe:] ff ff=tu u₁. 降り続けている。雨が。

- ・中止形=ja+連体形×2+補助動詞 as₁+補助動詞 u₁

as₁ が補助動詞として追加される。

nivve:] niv niv asi=tu u₁. 寝てばかりいる。進行中でも反復でもいい。反復を背景にした進行。

- ・中止形=ja+連体形+補助動詞 as₁+補助動詞 u₁

ni:=ja] ni: asi=[tu] u₁. 煮てばかりいる。

- ・連体形×2

ure:] aNsi [niv] niv. これはこんなにして寝てばかりいる。進行中

- ・連体形×2+補助動詞 u₁

ure:] num num=tu u₁. これは飲んでばかりいる。目の前で。

- ・連体形+補助動詞 as₁+補助動詞 u₁

namaraN] num asi=tu u₁. 休まずに飲んでいる。目の前で。

namaraN] fau asi=tu u₁. 休まずに食べている。目の前で。

1. 2. 2 動詞連体形

1. 2. 2. 1 動詞連体形と m:ti: u₁

この組み合わせは、開始過程も途中の継続も終了過程もあらかず。

○開始直前

mme vv] m:ti:=tu u₁. もう売ろうとしている。開始前、準備中、準備完了

○動作や変化の進行

- ・動作の継続

nu:]si m:ti:=tu u₁. ものを上にあげている。

ukɣmi] m:ti:=tu u₁. 埋めている。

akɣki] m:ti:=tu u₁. ものを預けようとしている。変化動詞の動作面に注目

awati] m:ti:=tu u₁. あわてている。

nau=ju as₁ m:ti:=tu uta]ɣ? なにをしていたか? きのうここで

- ・変化の継続

peɣ] m:ti:=tu u₁. 行きつつある。帰りつつある。

passi:] m:ti:=tu u₁. 忘れようとしている。

pa[kɣi] m:ti:=tu u₁. 禿げつつある。paki kata よりも進んでいる感じ。

ki:=nu=[tu tau]ri m:ti: u₁. 木が倒れつつある。

tuki] m:ti:=tu u₁. 溶けつつある。

○開始過程

tuŋ] m:ti:=tu uŋ. 取っている。つかまえている。ふれている。
uskŋ] m:ti:=tu uŋ. 置こうとしている。
aki] m:ti:=tu uŋ. 開けようとしている。開けはじめている。窓に手をかけている。
pŋŋ] m:ti:=tu uŋ. 座ろうとしている。立った状態から。
takŋ] m:ti:=tu uŋ. 立とうとしている。立ち上がりつつある。
niv] m:ti:=tu uŋ. 眠りつつある。眠りはじめ。布団に入って眠りにつくまで。
pi:] m:ti:=tu uŋ. 酔いはじめている。酔いつつある。
mmari] m:ti:=tu uŋ. 生まれそうだ。赤子が出ようとしている。
ffariŋ] m:ti:=tu uŋ. 腐りかけている。まだ食べられる。

○終了過程

panari:] m:ti:=tu [uŋ. はがれそうだ。壁の紙がもうすぐ
panari:] m:ti:=tu uŋ. 外れそうだ。窓が
kataffa=nu=tu] panari: m:ti: uŋ. かさぶたがはがれそうだ。離れる
paki] m:ti:=tu uŋ. はがれそうだ。ハゲる

1. 2. 2. 2 動詞連体形と補助形容詞 ku:kam

動詞と補助動詞 ku:kam との組み合わせは兆候をあらわす。ku:kam は動詞 kSs と関係があるか。

○兆候・きざし

kSs] ku:kam. 来そうだ。そろそろ時間だから。
fau] ku:kam. 食べそうだ。様子を見て
sŋn] ku:kam. 死にそうだ。
ff] ku:kam. 降りそうだ。
mme pari] ku:[kam. もう晴れてきそうだ。
akaŋ] ku:kam. 上がってきそうだ。雨が。晴れそうだ。
mme] pSsif naŋ] ku:kam. もう寒くなりそうだ。
mmaf] naŋ] ku:kam. おいしくなりそうだ。料理をしながら。

1. 2. 2. 3 動詞連体形と形式名詞の組み合わせ

名詞性がより低そうなものからとりあげる。

1) 動詞連体形と kata

○兆候・きざし

kSs] kata. もうやがて来る。予定の時間だから。見えなくていい。
ikS[ku:] siNsi:=ja ja[pa:]japa utassuka=[tu] ki:=[ja javvi] kata. いつもは先生はやさしかったけど、きょうは怒りっぱい。いつ起こりだしてもおかしくない状態。

○開始直前

ukam] kata. 拌みが始まりそうだ。

kFf] kata. 作ろうとしている。食材などを準備して料理を。

Nki] kata. 帰りそうだ。帰る準備をしている。

ma:s] kata. 燃やそうとしている。ゴミを集めて火をつけようとしている。

a:[ku:] a[ɲ] kata. 歌を歌うところだ。かれはマイクを持ってもうすぐ。

unu] fa:=[ja] jaka[ti mi:] kata. この子はもうすぐ見えるようになりそうだ。赤子の目が。目が開き
そうだ。

mme] mi:rai] kata. もう見えそうだ。遠くに島が。×ミー カタ。

u[nu] fa:=[ja] mme jaka[ti] niv kata. この子どもはもうやがて眠る。眠そうにしている様子を見て。

mme] jaka[ti pa:tuɲ] kata. もうやがて這いそうだ。赤子などが。

mmari] kata. もうすぐ生まれる。1時間程度までか。×あした

sɲn] kata. やがて死ぬ。死にかけている。死にそうだ。

mme] ff kata. もう降りそうだ。

mme] jaka[ti] akaɲ] kata. もうやがてあがる。雨が上がりそうだ。

○開始過程

javvi] kata. 壊れそうだ。完全な状態ではない。

ffari] kata. 腐りかけている。まだ食べられる。

ftuti] kata. 枯れかけている。木が。

pa[ki] kata. 禿げようとしている。頭髮が薄くなり始めた。

相撲などの「負ける」は、一方が危ない状況になれば「負ける」の開始過程に入ったことになる。開始過程のみで未遂に終わることもあるが、足が土俵を割れば、「負ける」が完成する。

maki] kata. 負けそうだ。

風呂の水の「あふれる」は、風呂桶から水が流れたら「あふれた・あふれている」になり、その状況にギリギリまで近づくことが「あふれる」の開始過程になる。

afɲri] kata. あふれそうだ。風呂の水が。

存在の消滅では、消滅に近づくのが「いない・ない」の開始過程になり、ゼロになれば消滅が完成する。

「まだ5人いる。」と「もう5人しかいない。」の中間が、「いない」の開始過程になるか。

mi:N] kata. いなくなりそうだ。会がおわって会場の人がほとんど帰った。

m[me] ne:N] kata. もうなくなる。なくなりそうだ。ものが

○終了過程

kau] kata. 買い終わりそうだ。買うものがまだ残っている。動作主体

vvai] kata. 売り終わりそうだ。まだ売るものが少し残っている。売られそうだ。市場などで。動作対象

nara:sɲ] kata. 教え終わりそうだ。

aspɲ] kata. 遊び終わりそうだ。

mme] nu[mas] kata. もう飲ませ終わろうとしている。飲ませるものがなくなろうとしている。終了直前

mme] kFf kata. もう(料理を)作り(おわり)そうだ。作る。

★変化動詞のあらわす変化の、開始と終了

「はがれる」なら、一部がはがれたら開始過程に入ったことになり(はがれはじめ)、一部しか付いていなかったら終了過程に入ったことになる(はがれおわり)。「はがれそうだ」はそのどちらにも使用される。

kasaf]fa: [panari] kata. かさぶたははがれそうだ。離れる

「散る」も、一つの花の複数ある花びらの一枚が離れそうになったら、開始過程の「散りそうだ」といえるし、最後の一枚が離れそうになっても終了過程の「(ぜんぶ・完全に)散りそうだ」といえる。また、桜などで少し散り始めたら開始過程の「散りそうだ」、ほとんど散っていたら終了過程の「(ぜんぶ・完全に)散りそうだ」といえる。

sari] kata. 散ろうとしている。散りそうだ。散り落ちそうだ。

2) 動詞連体形と kumata

○兆候・きざし>>予定性・確実性に連続

u[ti] kumata. 落ちそうだ。

ure: sari] kumata. もう散りそうだ。いまはふつうに咲いていてもいい。

unu] maju: [sqn] kumata. このネコは死にそうだ。

kjma:iti] kumata. 怒りそうだ。様子を見て。

as] kumata. しようとしている。しそうだ。

kare: [kairi] kumata. あいつは転ぶ。見ながら。

a: kare: tupj] kumata. あ、あれ飛ぶよ。鳥を見て。

○局面関連以外

・名詞用法

mme] as kumata: [ne:N. もうすることはない。もうする「予定」はない。

nname=kara mi:] kumata=u=[pa: pStu=Nkai=[ja] aqna. いまから見ることを人には言うな。

・予定性

ata:] uq kumata araNni[pa] kSsna. あしたはいる予定じゃないから来るな。

ure:] nname=tu [ni:] kumata. これはいま煮る。

・当為性

ara: mmi] kumata. 私は濡れる。雨の中を傘なしで行くから仕方ない。

ure:] pa[ka:i] kumata. これは奪われるべき。財布などを奪われて当然な状況にある。

・確実性(無意志)

kama=nna] ka:ssa [ne:N] kumata. あそこにはお菓子はない。

pe:kaq] kumata. (あいつは足が)速いと思う。形容詞

・性質

unu] ki:=ja [sku puri] kumata. この木はすぐに折れる。

ja:rakaq] kumata. (この魚は肉が)軟らかい。形容詞

3) 動詞連体形と paNkɿ

○最中 (かなり語彙的)

・完成相

ske:s] paNkɿ. 走っている最中だ。

vv] paNkɿ. 売っている最中だ。忙しそうに売る動きをしている。客が少なければ使えない。「いる」だけでは「売る」にならない。

niv] paNkɿ. 寝ている最中だ。

ff] paNkɿ. 降っている最中。大雨でも小雨でも。

tuki] paNkɿ. 溶けつつある。最中

ma:s] paNkɿ=[tu] jataɿ. 燃やしている最中だった。

・継続相

ske:si:ɿ] paNkɿ. 走っている最中だ。

ma:si:ɿ] paNkɿ. 燃やしている最中だ。

・完成相では動作の対象がハダカ格になる。一語性の問題？

sa[ki num] paN[kɿ. 酒を飲んでいる最中だ。酒飲む最中。

munu fau] paN[kɿ. ものを食べている最中だ。もの食べる最中。

・継続相では動作の対象が対格になる。

sa[ki:] nu[mi:ɿ] paN[kɿ. 酒を飲んでいる最中だ。

munu: fai uɿ] paNkɿ. ものを食べている最中だ。

1. 2. 3 動詞意志形と補助動詞 uɿ

○開始直前

ukama]ti:=tu] uɿ. 拝もうとしている。準備

ffa]ti:=tu] uɿ. 閉めようとしている。直前、準備中

mme] vvati:=tu] uɿ. もう売ろうとしている。開始前、準備完了

ffa=u=[tu] turati: uɿ. 草を取ろうとしている。開始前

nivva]ti:=tu] uɿ. 眠ろうとしている。布団を敷いたりなど、準備中。

nara:sa]ti:=tu] uɿ. 教えようとしている。目の前で。準備中

○開始過程

ukama]ti:=tu] uɿ. 拝もうとしている。

pera]ti:=tu] uɿ. 帰ろうとしている。靴を履くなど、玄関にいる。

kare: [kairi]ti:=tu] uɿ. あいつは転ぼうとしている。危なそうだ。

ja:skari:ri=[tu tau]riti: uɿ. ひもじくて倒れそうだ。

maju=nu=tu] fa:ti: uɿ. ネコが食べそうだ。近づいて、いまにも

tupa]ti:=tu] uɿ. 飛ぼうとしている。鳥が

unu] ki:=ja [tau]riti:=tu] uɿ. この木は倒れようとしている。

○存在の継続

ura]ti:=tu u₁. いつづけようとしている。もっとここにいる！

2. 局面別の諸形式

2. 1 兆候・きざし

○kumata

○kata

○形容詞 ku:kam

2. 2 開始直前

○意志形~ti: u₁

○m:ti: u₁

○kata

2. 3 開始過程

○意志形~ti: u₁

○m:ti: u₁

○kata

2. 4 開始後

○シテクル kSs

○シテイク pe₁

○ne:N

2. 5 動作や変化の継続

○完成相

○継続相 中止形+u₁

○m:ti: u₁

○シテクル kSs

○シテイク pe₁

○paNk₁

○動詞中止形と動詞連体形? × 2

○意志形~ti: u₁

2. 6 反復・習慣

○継続相 中止形+u₁

○副詞(いつも、ときどき)+完成相

○完成相+複数性助辞 na:

○継続相+複数性助辞 na:

○動詞中止形と動詞連体形? × 2

2. 7 終了過程

○kata

○m:ti: u₁

2. 8 完了的

○中止形

2. 9 終了後の局面

○ne:N

2. 10 痕跡

○痕跡相 ukS

○痕跡相 a₁

○継続相 u₁

2. 1 兆候・きざし

動作や変化が起こりそうな状態をあらわす。単なる静的な状態・様態ではなく、つづくプロセスが予測されている。つぎの「開始直前」よりも時間的な余裕がある感じだが、連続しているようにも見える。しかし、「開始過程」とは明確に区別される。

○kumata 予定性・確実性に連続

u[ti] kumata. 落ちそうだ。

ure: sari] kumata. もう散りそうだ。いまはふつうに咲いていてもいい。

unu] maju: [sɲ] kumata. このネコは死にそうだ。

kɲma:iti] kumata. 怒りそうだ。

as] kumata. しようとしている。なにかをしそうだ。

kare: [kairi] kumata. あいつは転ぶ。見ながら。

a: kare: tup] kumata. あ、あれ飛ぶよ。鳥を見て。

Okata 開始直前、開始過程に連続

kSs] kata. (もうやがて) 来る。予定の時間だから。見えなくていい。

ikS[ku:] siNsi:=ja ja[pa:]japa utassuka=[tu] ki:=[ja javvi] kata. いつもは先生はやさしかったけど、きょうは怒りっぱい。いつ怒りだしてもおかしくない状態。

○形容詞 ku:kam

kSs] ku:kam. 来そうだ。そろそろ時間だから。

fau] ku:kam. 食べそうだ。様子を見て

sɲ] ku:kam. 死にそうだ。

ff] ku:kam. 降りそうだ。

mme pari] ku:[kam. もう晴れてきそうだ。

akaɲ] ku:kam. 上がってきそうだ。雨が。晴れそうだ。

mme] pSsif naɲ] ku:kam. もう寒くなりそうだ。

mmaf] naɲ] ku:kam. おいしくなりそうだ。料理をしながら。

2. 2 開始直前

動作や変化が開始する直前の状態をあらわす。つぎに取り上げる「開始過程」とは、連続していて明確に区別できない場合もある。「兆候」と「開始過程」の中間に位置するか。

○意志形～ti: uɲ

ffa]ti:=tu uɲ. 閉めようとしている。直前、準備中

mme] vvati:=tu uɲ. もう売ろうとしている。開始前、準備完了

ffa=u=[tu] turati: uɲ. 草を取ろうとしている。開始前

ukama]ti:=[tu] uɲ. 拝もうとしている。準備

nivva]ti:=tu uɲ. 眠ろうとしている。布団を敷いたりなど、準備中。

nara:sa]ti:=tu uɲ. 教えようとしている。目の前で。準備中

○m:ti: uɲ (基本的には開始過程)

mme vv] m:ti:=tu uɲ. もう売ろうとしている。開始前、準備中、準備完了

Okata

ukam] kata. 拝みが始まりそうだ。

kFf] kata. 作ろうとしている。食材などを準備して料理を。

Nki] kata. 帰りそうだ。帰る準備をしている。狭義のカエルではない？

ma:s] kata. 燃やそうとしている。ゴミを集めて火をつけようとしている。

a:[ku:] a[ɲ] kata. 歌を歌うところだ。かれはマイクを持ってもうすぐ。

unu] fa:=[ja] jaka[ti mi:] kata. この子はもうすぐ見えるようになりそうだ。赤子の目が。目が開きそうだ。

mme] mi:rai] kata. もう見えそうだ。遠くに島が。自動詞。×ミーカタ。

u[nu] fa:=[ja] mme jaka[ti] niv kata. この子どもはもうやがて眠る。眠そうにしている様子を見て。

mme] jaka[ti pa:tuŋ] kata. もうやがて這いそうだ。赤子などが。

mmari] kata. もうすぐ生まれる。1時間程度まで。×あした

sqn] kata. やがて死ぬ。死にかけている。死にそうだ。

mme] ff kata. もう降りそうだ。

mme] jaka[ti] akaŋ] kata. もうやがてあがる。雨が上がりそうだ。

2. 3 開始過程

「開始直前」の段階を越えて、動作や変化がまさに開始する過程にあることをあらわす。

○意志形～ti: uŋ

・意志的

ukama]ti:=tu uŋ. 拝もうとしている。

pera]ti:=tu uŋ. 帰ろうとしている。靴を履くなど、玄関にいる。

・無意志的

kare: [kairi]ti:=tu uŋ. あいつは転ぼうとしている。危なそうだ。

ja:skari:ri=[tu tau]riti: uŋ. ひもじくて倒れそうだ。

maju=nu=tu] fa:ti: uŋ. ネコが食べそうだ。近づいて、いまにも

tupa]ti:=tu uŋ. 飛ぼうとしている。鳥が

unu] ki:=ja [tau]riti:=tu uŋ. この木は倒れようとしている。

○m:ti: uŋ

・意志的

tuŋ] m:ti:=tu uŋ. 取ろうとしている。つかまえている。ふれている。開始段階。

uskŋ] m:ti:=tu uŋ. 置こうとしている。動作中。

aki] m:ti:=tu uŋ. 開けようとしている。開けはじめている。窓に手をかけている。

pŋŋ] m:ti:=tu uŋ. 座ろうとしている。立った状態から。

takŋ] m:ti:=tu uŋ. 立とうとしている。立ち上がりつつある。

・無意志的

niv] m:ti:=tu uŋ. 眠りつつある。眠りはじめ。布団に入って眠りにつくまで。

pi:] m:ti:=tu uŋ. 酔いはじめている。酔いつつある。開始段階

mmari] m:ti:=tu uŋ. 生まれそうだ。赤子が出ようとしている。

ffariŋ] m:ti:=tu uŋ. 腐りかけている。まだ食べられる。

○kata

javvi] kata. 壊れそうだ。完全な状態ではない。

ffari] kata. 腐りかけている。まだ食べられる。

ftuti] kata. 枯れかけている。木が。

pa[ki] kata. 禿げようとしている。頭髪が薄くなり始めた。

相撲などの「負ける」は、一方が危ない状況になれば「負ける」の開始過程に入ったことになる。足が土俵を割れば、「負ける」が完成する。

maki] kata. 負けそうだ。

風呂の水の「あふれる」は、風呂桶から水が流れたら「あふれた・あふれている」になり、その状況にギリギリまで近づくことが「あふれる」の開始過程になる。

afɽri] kata. あふれそうだ。風呂の水が。

存在の消滅では、消滅に近づくのが「いない・ない」の開始過程になり、ゼロになれば消滅が完成する。

mi:N] kata. いなくなりそうだ。会がおわって会場の人がほとんど帰った。

m[me] ne:N] kata. もうなくなる。ものがなくなりそうだ。

2. 4 開始後

動作の開始限界達成後であることをあらわす。

○シテクル kSs★訳はシテキタだが語形は非過去形

・発生して過程が進行

pɽ[ki=nu=tu] ui k<Sɽ>. ひげが生えてきた。

pSsi]=tu kɽ. 引いてきた。潮が

mme] su:=ja m[ti]=tu kSs. もう潮は満ちてきた。干潮から。

a: [ami=nu=tu ffi] kSs. あ、雨が降ってきた。降ってくる。降り始め。

○シテイク peɽ

・発生して過程が進行

m[ti]=tu peɽ. 潮が満ちていく。干潮から。

pSsi]=tu peɽ. 引いていく。潮が

○ne:N

・動作開始後の持続の局面

mme ffi] ne:N. もう降り始めちゃった。降り出しちゃった。

ffi]=tu uɽ. 降っている。動作継続

2. 5 動作や変化の継続

動作や変化が進行中であることをあらわす。また、変化の結果が持続していることをあらわす。

○完成相

移動動作をあらわす語彙>現在進行

pi:] pStu=nu=tu kSs. 酔っ払いが来る。見つけて。

aka fku: k!isi:] fa:=nu=tu kSs. 赤い服を着ている子どもが来る。見つけて。

○継続相 中止形+u]

・動作の継続

tamakSki]=na:=[tu] skama=u asi:]。だまって仕事をしている。何人も

vva:] uri: [kFfi:]ri. あなたはこれを作っている。

upummata=ka=te:N=tu putu]ri:]。おばあちだけが踊っている。

ffu:=pa:] mari:]。うんこをしている。

・変化の継続

peri]=tu u]。帰りつつある。ここを出て移動中。または、すでに到着も。

ak]ki]=tu u]。ものを預けようとしている。変化動詞「預ける」の動作的な側面

tuki]=tu u]。溶けつつある。氷が。

pStu=nu=tu] pi:ma=na: [pina]ri iki:]。人がだんだん減っていつている。変化中

・結果の継続

naka pak]=u=tu] m[pa]si:]。長い足を伸ばしている。

uma=N=tu] ui u]。ここに生えている。草などがいま。

uma: mmi]=tu u]。ここは濡れている。

maq=a ni:]rai=tu u]。ご飯は炊けている。炊かれている。受動態

paku=nu=tu] klicigina[ri] uskai u]。箱がきれいに置かれている。受動態

○m:ti: u]

・動作の継続

nu:]si m:ti:=tu u]。ものを上にあげている。

uk]mi] m:ti:=tu u]。埋めている。

awati] m:ti:=tu u]。あわてている。

mak] m:ti:=tu u]。性交している。

nau=ju as] m:ti:=tu uta]?) (きのうここで) なにをしていたか?

・変化の継続

pe] m:ti:=tu u]。行きつつある。帰りつつある。

passi:] m:ti:=tu u]。忘れようとしている。

pa[ki] m:ti:=tu u]。禿げつつある。paki kata よりも進んでいる感じ。

ki:=nu=[tu tau]ri m:ti: u]。木が倒れつつある。

tuki] m:ti:=tu u]。溶けつつある。

○シテクル kSs

・変化の継続

akari]=tu kŋ. 晴れようとしている。晴れつつある。
sɣtaiN=tu] ffakari kŋ. だんだん曇ってきた。
fku]ri=tu kSs. 膨らんできた。
ftu]ti=tu kSs. 腐ってきた。枯れてきた。
puku]ri [kŋ. 冷めて来る。
akS]si=[tu] kSs. 熱くなって来る。さわって温かくなっている。
upu:]sa=N=[tu] nari kSɣ. 多くなって来る。人数が

○シテイク peɣ

・変化の継続

tuki]=tu peɣ. 溶けていく。氷が
u[pu:sa=N=tu] nari peɣ. 多くなっていく。詳しい言い方。人数が
tau]ri peɣ. 倒れていく。進行

○paNkɣ

・動作の継続

ske:s] paNkɣ. 走っている最中だ。
vv] paNkɣ. 売っている最中だ。忙しそうに売る動きをしている。客が少なければ使えない。「売り場にいる」だけでは「売る」にならない。
niv] paNkɣ. 寝ている最中だ。
ff] paNkɣ. 降っている最中。大雨でも小雨でも。
ma:si:] paNkɣ. 燃やしている最中だ。
ske:si:] paNkɣ. 走っている最中だ。

★完成相では対象がハダカ格になる。一語性の問題？

sa[ki num] paN[kɣ. 酒飲む最中だ。酒を飲んでいる最中だ。大げさな感じ
munu fau] paN[kɣ. もの食べる最中だ。ものを食べている最中だ。

★継続相では対象が対格になる。

sa[ki:] nu[mi:] paN[kɣ. 酒を飲んでいる最中だ。
munu: fai u] paNkɣ. 食べている最中だ。

・変化の継続

panasɣ] paNkɣ. 離す最中。手を離しつつある。
passi] paNkɣ. 忘れつつある。最中
tuki] paNkɣ. 溶けつつある。最中

○動詞中止形と動詞連体形？×2 >> 反復・習慣に連続する

aɣre:] aɣ aɣ. つぎつぎと歌を歌っている。見ながら。
puture:] putuɣ putuɣ. どんどん踊っているねえ。一人でいろいろつぎつぎといろんな踊りを。
fai=ja] fau fau. どんどん食べている。大食い。見ながら。
mi:]=[ja:] mi: mi:. 見てばかりいる。おなじものを繰り返し見ている。
nume:] num num. 飲んだり休んだりを繰り返している。だらだら飲んでいる感じか。
ffe:] ff ff. 食ってばかりいる。釣りで魚にえさを繰り返し取られる。

ffe:] ff ff. 降り続けている。雨が。

○意志形～ti: u₁ 存在の継続

ura]ti:=tu u₁. いつづけようとしている。もっとここにいる！

2. 6 反復・習慣

繰り返される動作や変化を全体として一つの大きなできごととしてとらえ、それが現在あるいは過去に進行中であることをあらわす。

○継続相 中止形+u₁

ami=nu] ffi:ŋ pa:=n[na] taro:=[ja] ja:=N=[tu terebi:=te:N] mi: u₁. 雨が降っているときは、太郎は家でテレビばかり見ている。

ja:ti=[nu] upu:sa jari:ri=[tu] fka:fka=[nu] su:nusŋnapi: [kSka]i u₁. 家族が多いから、深い汁鍋を使っている。

iki=tu] asi:ŋ. (ときどき) 行って (そこでなにかを) している。asi u₁

○副詞 (いつも、ときどき) +完成相

ŋa:] ikS=mai uma=N=tu [pŋ. お父さんはいつもここに座る。

]aN=mai peusŋna kaNkai=tu sŋ. 私もときどき考える。

kanupStu: ikS=mai] ja:=nna [mi:N. あの人はいつも家にはいない。

maju=nu=tu] peusŋna kSs. ネコがときどき来る。

○完成相+複数性助辞 na:

upummata=ka=te:N=na=[tu] putuŋ. おばあちだけが踊る。いつも。na 短い。主語=na:

unu] fa:=sui=na:=[tu] appŋtaŋ. この子どもと遊んだ。まえはよく。×na:sui 間接補語=na:

u₁] =na:=tu sŋ. ときどきいる。ネコがそこにいたりいなかったり。述語=na:

uma=N=na:=[tu] ui=na: sŋ. ここに生える。草などがよく。間接補語=na:、述語=na:

○継続相+複数性助辞 na:

nivvi=na:] u₁. 寝たりしている。病気で寝たり起きたりしている。

ikS=na:] asi:ŋ. 行ったりしている。ときどき

uma=N=[tu] ui=[na:] u₁. ここに生えたりしている。

○動詞中止形と動詞連体形? × 2

k!ise:] kSs kSs. 来てばかりいる。

ffe:] ff ff. 降ったりやんだりを繰り返している。

ffe:] ff ff=tu u₁. 降ったりやндіりを繰り返している。

2. 7 終了過程

動作や変化が終了に近づいていることをあらわす。

○kata

kau] kata. 買い終わりそうだ。買うものがまだ少し残っている。

vvai] kata. 売り終わりそうだ。売るものがまだ少し残っている。売られそうだ。市場などで。動作対象 nara:sɿ] kata. 教え終わりそうだ。

aspɿ] kata. 遊び終わりそうだ。

mme] nu[mas] kata. もう飲ませ終わろうとしている。飲ませるものがなくなろうとしている。終了直前

mme] kFf kata. もう(料理を)作り(おわり)そうだ。作る。

★変化動詞のあらわす変化の、開始と終了

「はがれる」なら、一部がはがれたら開始過程に入ったことになり(はがれはじめ)、一部しか付いていなかったら終了過程に入ったことになる(はがれおわり)。「はがれそうだ」はそのどちらにも使用される。

kasaf]fa: [panari] kata. かさぶたははがれそうだ。(離れる)

「散る」も、一つの花の複数ある花びらの一枚が離れそうになったら、開始過程の「散りそうだ」といえるし、最後の一枚が離れそうになっても終了過程の「(ぜんぶ・完全に)散りそうだ」といえる。また、桜などで少し散り始めたら開始過程の「散りそうだ」、ほとんど散っていたら終了過程の「(ぜんぶ・完全に)散りそうだ」といえる。

sari] kata. 散ろうとしている。散りそうだ。散り落ちそうだ。

○m:ti: uɿ

kataffa=nu=tu] panari: m:ti: uɿ. かさぶたがはがれそうだ。離れる

paki] m:ti:=tu uɿ. はがれそうだ。ハゲる

2. 8 完了的

動作が起こった瞬間に注目しているが、この用法を、開始過程の完了とみればこの位置に置かれるし、動作の開始限界達成後とみれば、2. 4に置かれることになる。

○中止形

a: [mi]:=tu. あ、見た。あの人。見た瞬間。

ma:Nti:=tu] numi. ほんとうに飲んだ。飲んだ瞬間。飲まないと思ったのに。

mme] umui iti=tu. あ、思い出した！思いついた！

ma:Nti:=tu] ffi. ほんとうに降った。いま降っている。(もうやんでいる。)

a: piN]ki=tu. あ、逃げた。釣りで。

a: [nnama=tu] pSkari. あ、いま光った。

この意味では、(第一) 過去形の mi:taɿ、numtaɿ、fftaɿ などはあらわれにくい。

2. 9 終了後の局面

動作や変化の終了後の状態をあらわす。動作や変化の結果がなんらかの形で残っていることもあれば、残っていないこともある。

○ne:N

・変化終了後の（持続の）局面（～している）（変化の結果の継続）

ti:=u=tu] jamasi ne:N.手をけがしてしまった。

ic!ikiro=kami u[taf] nari ne:N.1キロも太っちゃた。

pi:maka:] numi s!iti:=[tu pi:] ne:N.少し飲んで酔ってしまっている。現在。

nivvi] ne:N.寝ってしまった。いま寝ている。熟睡している。

uki] ne:N.起きちゃった。寝ていたのに。

・動作終了後の（持続の）局面（～した）（完了?）

ukusi] ne:N.起こしちゃった。寝ていたのに。

kFfi] ne:N.作り終わった。完成した。

nivpsami] ne:N.寝坊しちゃった。現在。

numasi] ne:N.（まちがって少しだけ）飲ませちゃった。

ffi] ne:N.降り終わった。雨がやんでいる。

移動の完了

peri] ne:N.帰ってしまった。いない。

m:na paꝑri] ne:N.みんな入っちゃった。入室完了。

m:na=tu] itasi=tu] ne:N.ぜんぶ出した。箱の中身を。(tu+tu)

m:na] ꝑri ne:N.みんな入れ終わった。酒の入れ替え完了。

2. 10 痕跡

動作や変化の終了後にその痕跡があることをあらわす。痕跡は、なんらかの形として存在することもある。記憶に刻まれているだけのこともある。

○痕跡相 ukS

unakai] saki:=pa: [nume:] ukaN.久しく酒を飲んでいない。(相手の)減っていない酒瓶を見ながら。久しく飲んでいないことの痕跡。

taukara:=ka=tu ap]pi:kꝑ.だれかが遊んである。appi ukꝑ

Nkeki=tu] ukamaꝑ.召し上がってある。

naukara:=nu=tu] a[ri:kS.なにかがあったようだ。ari ukS

○痕跡相 aꝑ

upuꝑa=ka=tu] mmei aꝑ.オジイがいらっしゃってある。来る。

nustu=nu=tu [paꝑ]re:ꝑ.泥棒が入ってある。paꝑri aꝑ

uma: mmi]ta:ꝑ.ここは濡れてある。mmi=tu aꝑ

金田章宏「宮古語大神方言の局面表現にかかわる諸形式」

naukara:=nu=tu] ute:ɣ. なにかが落ちてある。uti aɣ

naukara:=nu=tu] a[re:ɣ. なにかがあったようだ。ari aɣ

○継続相 uɣ

uma=Nkai] si: uɣ pStu=nu=tu [uɣ. ここに（おしっこを）している人がいる。濡れているのを見て。

ari]=tu uta:ɣ [ja]:. (ここになにかが) あったようだった。

参考文献